

目標達成計画

事業所名：グループホームほろむい二号館

作成日：令和5年2月10日

市町村受理日：令和5年2月21日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組内容	目標達成に要する期間
1	10	コロナ禍のためご家族面会の制限がある中で、ご家族によっては知りたい事や気になることに違いがあり、ご家族それぞれの意向を確認する必要がある。	職員一人一人が入居者様の情報共有し発信及びご家族様の意向を把握できる体制を構築する。	・ご家族様との面談時、管理者や計画作成担当者だけでなく各職員が共通認識のもと入居者様の情報発信及びご家族様の意向等の情報収集を行う。またその際に知りえた情報を共有し対処する。 ・ご家族様へのケアプラン郵送時、意向に関するアンケートを同封する。	6ヶ月
2	36	内部研修の題材で入居者様と職員の社会的関係性等の視点を組み込み学びを深めた結果、職員の自己覚知や接遇意識が変わり改善に至ったユニットがある。職員の何気ない言葉や行動が入居者様の尊厳に対して必要か否かを確認する上でも、この研修内容を全体に波及し更なる意識化に努める必要がある。	各種研修を活かし各職員の意識改革が出来る体制を構築する。	・各ユニット個々の研修計画ではなく、全ユニットで共通した年間を通した研修計画を作成、毎月のユニット会議にて実行、意見等を取りまとめ、全体会議で意見交換を行い評価、問題・課題・改善策を共有し、各ユニットに議題として落とし込む。	12ヶ月
3	35	夜間想定火災訓練は実施できているが、想定される自然災害の訓練やシミュレーションも行っていく必要がある。合わせて配線状況や漏電防止、居室内の物品位置の確認、収容避難先での避難生活を想定し、課題を明らかにして備える防災の強化も必要。	各種自然災害に対応した避難訓練を行う。	・各管理者および防火・防災管理者が中心となり、各関係機関の協力を得ながら情報収集・意見交換を行い、各種自然災害に対応した避難計画を作成、シミュレーション・訓練を行う。 ・月1回の巡回にて配線状況及び漏電防止の見回りをし随時改善する。	12ヶ月
4	6	虐待防止委員会でスピーチロックについて話し合うなど身体拘束委員会と虐待防止委員会の内容の仕分けが出来ていなかった。	身体拘束委員会と虐待防止委員会の内容理解と仕分けを行う。	・管理者を含めた全職員が身体拘束と虐待の違いを理解する。また、会議録は仕分けをして記録する。	1ヶ月
5	4	運営推進会議で構成員がモニターをするための重要な事項である職員の入退職状況の報告をしていない。職員自身の個人情報にも関わる為、どの程度の公表(報告)とすべきか話し合いが必要。	運営推進会議構成員が職員入退職情報の把握が出来る。	・次回、令和4年度第6回運営推進会議資料内に職員入退職情報の項目を設け情報発信をする。	1ヶ月

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入してください。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加してください。